

水戸教育事務所だより

寄り添う事務所 ・ 育成する事務所

第 24 号

2023年1月23日



令和4年度 授業力ブラッシュアップ研修第2回授業発表会
【数学】—茨城町立青葉中学校—

全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた授業実践



考えたことを数学的な表現を用いて
筋道立てて説明し伝え合う！

令和4年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修第2回授業発表会が11月1日に茨城町立青葉中学校で開催されました。青葉中では、全国学力・学習状況調査の問題や授業における生徒の実態から「問題解決の過程を簡潔・明瞭・的確に表し、根拠を明らかにして説明すること」に課題があると捉えました。そこで、単元の学習計画を見直し、学習活動を工夫・改善しながら、考え方を数学的な表現を用いて的確に記述し、筋道立てて説明することに力を置いた授業に取り組みました。

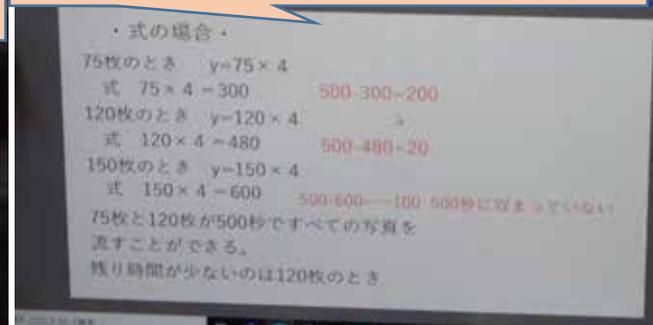
授業では、ICT機器を効果的に活用し、各自が根拠を明確にして分かりやすく説明しようとする姿が見られました。また、大型モニターに投影された他のグループが考えたものを基に、グラフのどこを見ればよいか、線を引いて目盛りを読んだり、印をつけて数値に着目し、式と関連付けたりしながら、説明して問題を解決しました。そして、友達が考えをタブレットに表現したものを基に、更に説明の根拠となる事柄を付け加えて、的確な説明となるよう修正しました。生徒一人一人が課題の解決に向けて真剣に考え、対話しながら学び、数学的に説明する力を高めていくことができました。

参観された先生方は、授業後の研究協議において、学習活動や学習形態、ICT機器の活用等、授業改善に向けた手立てや指導の在り方について熱心に話し合っていました。

タブレットを活用し、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する。疑問点について互いに質問し、更に加筆して確認する。



理由を明らかにし、筋道立てた説明となるように、式で示された考えに修正を加える。



電子黒板に表示された友達の考えに追加で書き込んだり指さしたりしながら説明することで、様々な考えを共有でき、生徒の学びが深まった。



よりの確な説明となるよう見直していくには、共有と加除訂正が容易にできるICT機器(タブレットや電子黒板)の活用が有効であることを確認した。



<お知らせ>

当日の授業と、授業者の授業後インタビューについては、「授業力ブラッシュアップ動画」として、今年度中に教育情報ネットワーク内に掲載されます。是非、動画をご覧ください。